

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2025年11月6日

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

*売上高は外部顧客向け。営業利益率は、外部顧客向け売上高に対する比率を記載しております。

*IP = Industrial Process事業、VI= Visual Imaging事業、LS = Life Science事業、
PHS = Photonics Solution事業



ウシオ電機代表取締役社長の朝日です。

本日はお忙しい中、
弊社「2026年3月期 第2四半期決算説明会」にご参加いただき、
誠にありがとうございます。

本日は、ウェブサイトで公開しております資料に基づき、
決算内容についてご説明いたします。

2025年度 1H実績

減収減益も、社内計画を上回り進捗

- DLT装置は一部前倒しで売上計上。ステッパ露光装置の販売は対前年同期で減少
- DLT等露光装置関連の先行投資を計画通り拡大
- 事業ポートフォリオ変革により収益構造改善が進展

2025年度 通期業績予想

期初計画を据え置き

- 収益構造改善が進展も、DLT装置の本格的な立ち上がり遅延を考慮

新成長戦略の進捗

半導体ADP事業は、**将来確実に拡大する需要に備えた取り組みが着実に進展**
事業ポートフォリオ変革の各施策は、**計画通り実施**

本日、お伝えしたいポイントは、記載の3点です。

まず、第2四半期の累計実績は減収減益となりましたが、社内計画を上回る進捗となりました。

DLT装置の一部で売上が前倒し計上された一方、ステッパ露光装置の販売は、過去の関連市場での過剰投資の影響により減少しました。

また、DLT装置を含む露光装置関連の先行投資を拡大させたことにより、減収減益となりました。

一方で、事業ポートフォリオ変革による収益構造の改善は着実に進展し、社内計画を上回りました。

2025年度の通期業績予想は据え置きます。

収益構造の改善が進展するとともに、DLT装置の売上が一部前倒しで計上されたものの、DLT装置の本格的な立ち上がりの遅延を考慮しました。

新成長戦略の進捗については、

半導体アドバンスドパッケージ事業において、将来確実に拡大する需要に備えた取り組みが着実に進展しています。

また、事業ポートフォリオ変革に伴う各施策は、計画通り実施しています。

詳しくは後ほど、ご説明します。

それでは、まず第2四半期の累計実績についてご説明します。

(スライド4ページへ)

- I. 2025年度 1H業績概要
- II. 2025年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗及び参考情報
- IV. 参考資料

売上高
814億円

前年同期比：42億円減（▲4.9%）

- IP事業：過去の関連市場での過剰投資影響が継続し、露光装置が減収
- VI事業：需要回復で販売は増加も、円高の影響で減収

営業利益
40億円

前年同期比：2億円減（▲6.0%）

- 投資対象見極め及び構造改革効果で増益に貢献も、減収及びDLT等露光装置関連の先行投資拡大で減益

親会社株主に帰属する
中間純利益
2億円

前年同期比：20億円減（▲89.6%）

- 【特別損失】事業構造改善費用 40億円（2024年度 1H：- 億円）
- 【特別利益】政策保有株式等の売却益 18億円（2024年度 1H：0 億円）

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 4

第2四半期業績は、
売上高は42億円の減収、
営業利益は2億円の減益、
中間純利益は20億円の減益となりました。

売上高は、露光装置の売上が減少。
また、シネマ分野中心に需要回復傾向にあり、販売が増加も、円高の影響で減収となりました。

営業利益は、
投資対象見極めや構造改革効果で増益貢献も、
減収及び、DLTなどの露光装置関連の先行投資拡大により、減益となりました。

中間純利益は、
事業構造改善費用の計上により減益となりました。

続いて、営業利益の増減内容をステップチャートでご説明します。

（スライド6ページへ）

2025年度 1 H : 財務ハイライト



単位：億円		2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		856	814	▲42	▲4.9%
営業利益		42	40	▲2	▲6.0%
営業利益率		5.0%	4.9%	▲0.1P	-
経常利益		54	50	▲4	▲7.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益		23	2	▲20	▲89.6%
EPS (円)		22.95	2.77	▲20.18	▲87.9%
為替レート (円)	USD	154	146	▲8	-
	EUR	166	167	+1	-

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

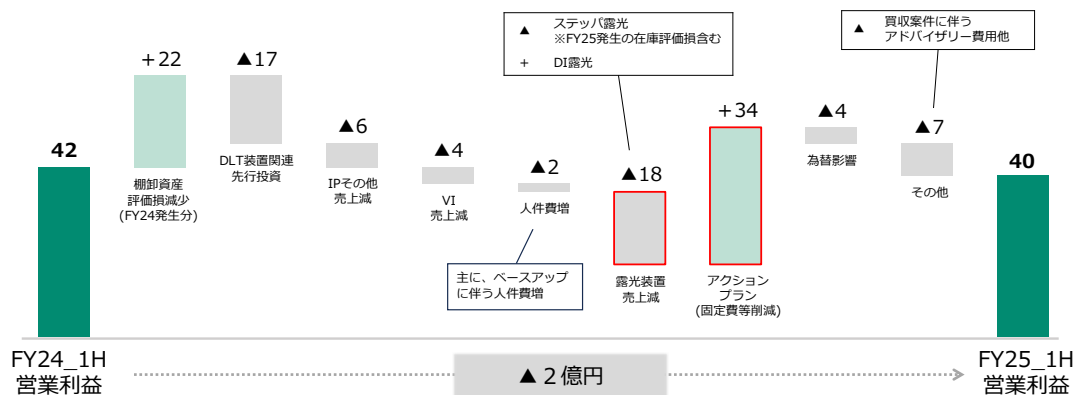
5

2025年度 1H：営業利益 増減分析(前年同期比)

USHIO

露光装置減収や評価損等の一時的要因及び戦略投資で減益も、構造改革効果による体質改善が進展

単位：億円



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 6

営業利益は2億円減益となりました。

露光装置の減収や在庫等の評価損及び買収案件のアドバイザー費用といった一時的な要因に加え、
将来に向けた先行投資により減益となりました。

一方で、
将来の収益構造改善に向けた固定費等削減の取り組みによる体質改善が進み、
その効果は現時点で34億円となりました。

続いて、セグメント別の業績をご説明します。

(スライド8ページへ)

2025年度 1 H : セグメント別業績

USHIO

単位：億円		2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	375	344	▲31	▲8.4%
	営業利益 (営業利益率)	52 (13.9%)	20 (5.9%)	▲31 (▲8.0P)	▲60.9% -
Visual Imaging	売上高	392	380	▲11	▲3.0%
	営業利益 (営業利益率)	▲1 (▲0.3%)	18 (4.7%)	+19 (+5.0P)	- -
Life Science	売上高	30	32	+2	+7.7%
	営業利益 (営業利益率)	▲5 (▲18.2%)	1 (5.2%)	+7 (+23.3P)	- -
Photonics Solution	売上高	51	49	▲1	▲2.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲2 (▲5.5%)	0 (1.7%)	+3 (+7.2P)	- -
その他	売上高	6	6	+0	+5.4%
	営業利益 (営業利益率)	0 (5.3%)	▲0 (▲6.9%)	▲0 (▲12.2P)	- -
連結合計	売上高	856	814	▲42	▲4.9%
	営業利益 (営業利益率)	42 (5.0%)	40 (4.9%)	▲2 (▲0.1P)	▲6.0% -

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

7

2025年度 1 H : Industrial Process事業

USHIO

単位：億円	2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	375	344	▲31	▲8.4%
営業利益	52	20	▲31	▲60.9%
営業利益率	13.9%	5.9%	▲8.0P	-
サブセグメント別売上高				
露光用ランプ	76	76	+0	+0.2% ③
OA用ランプ	31	26	▲5	▲16.7%
光学機器用ランプ	56	61	+5	+9.9%
光源事業合計	164	164	+0	+0.3%
露光装置	118	98	▲20	▲17.1% ①
光学装置その他	93	81	▲11	▲12.7% ②
光学装置事業合計	211	179	▲31	▲15.1%
Industrial Process事業合計	375	344	▲31	▲8.4%

■売上高：前年同期比 31億円減収

- 過去の関連市場の過剰投資影響で、ステッパ露光の販売が減少 ①
- DLT装置は、一部前倒しで売上を計上 ①
- EUVメンテナンス収入及び光配向装置の販売が減少 ②
- 需要は堅調も、円高の影響で横ばい ③

■営業利益：前年同期比 31億円減益

- DLT等露光装置関連の先行投資を拡大（17億円計上）
- 需要回復遅れによる滞留資産（露光装置）の評価損を計上

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 8

インダストリアルプロセス事業についてご説明します。

売上高は、従来型サーバーやPC向け需要が低調で、過去の関連市場での過剰投資の影響が継続していることから、ステッパ露光装置の販売が減少しました。
 なお、下期は販売増加を見込んでいます。
 また、円高の影響、EUVメンテナンス収入や光配向装置の販売減少もあり、31億円の減収となりました。

一方、DLT装置に関しては、一部売上が前倒しで計上されました。

営業利益は、
 露光装置関連の先行投資17億円のほか、
 需要の回復遅れによる滞留期間の長期化で評価損を計上。
 また、ステッパ露光装置の販売回復の遅延という一時的な要因もあり、
 31億円の減益となりました。
 なお、EUV関連の開発投資は、将来に向けた有望技術の開発のみに特化し、全体では抑制しました。

2025年度 1 H : Visual Imaging事業

USHIO

単位：億円	2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	392	380	▲11	▲3.0%
営業利益	▲1	18	+19	-
営業利益率	▲0.3%	4.7%	+5.0P	-
サブセグメント別売上高				
プロジェクター用ランプ	57	47	▲10	▲17.7% ②
照明用ランプ	18	15	▲2	▲15.2%
光源事業合計	75	62	▲12	▲17.1%
シネマ	149	153	+3	+2.6%
一般映像	167	164	▲2	▲1.6%
映像装置事業合計	316	317	+1	+0.3% ①
Visual Imaging事業合計	392	380	▲11	▲3.0%

■売上高：前年同期比 11億円減収

- 需要回復で販売が増加も、円高の影響で増収幅は限定的 ①
- 固体光源化の影響で販売が減少 ②

■営業利益：前年同期比 19億円増益

- 棚卸資産評価損の減少（2024年度 1 H：17億円）
- 製品ポートフォリオ見直し及び構造改革効果により増益

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 9

ビジュアルイメージング事業についてご説明します。

売上高は、シネマ分野を中心に需要が回復傾向にあり、デジタルシネマプロジェクターの販売は増加も、円高の影響で、増収幅は限定的となりました。また、プロジェクター用ランプは、固体光源化の影響を受け販売が減少し、11億円の減収となりました。

営業利益は、前期に計上した棚卸資産評価損17億円が減少したことに加え、製品ポートフォリオ見直し及び構造改革の効果により、19億円の増益となりました。

2025年度 1 H : Life Science事業 /Photonics Solution事業

USHIO

Life Science事業

単位：億円	2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	30	32	+ 2	+ 7.7%
営業利益	▲ 5	1	+ 7	-
営業利益率	▲ 18.2%	5.2%	+ 23.3P	-

■売上高：前年同期比 2 億円増収

- 植物育成向けランプの販売が貢献

■営業利益：前年同期比 7 億円増益

- 新規案件の投資対象見極めによる収益効率改善

Photonics Solution事業

単位：億円	2024年度 1 H実績	2025年度 1 H実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	51	49	▲ 1	▲ 2.8%
営業利益	▲ 2	0	+ 3	-
営業利益率	▲ 5.5%	1.7%	+ 7.2P	-

■売上高：前年同期比 1 億円減収

- 産業用途向けデバイスの販売が減少

■営業利益：前年同期比 3 億円増益

- 案件の選択と集中による収益効率改善

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 10

ライフサイエンス事業についてご説明します。

売上高は、植物育成向けナトリウムランプの貢献により 2 億円の増収となりました。
営業利益は、新規事業案件の投資対象見極めや構造改革効果により、
7 億円の増益となり、黒字化しました。

最後に、フォトニクスソリューション事業です。

売上高は、
産業用途向けデバイスの販売が減少し 1 億円の減収。
一方、営業利益は、
開発案件等の選択と集中や構造改革による収益効率改善で、
3 億円の増益となり、黒字化しました。

続いて、通期業績予想についてご説明します。

I. 2025年度 1H業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗及び参考情報

IV. 参考資料

2025年度 通期業績予想：財務ハイライト

USHIO

期初計画を据え置き

収益構造改善が進展も、DLT装置の本格的な立ち上がり遅延を考慮。米国の関税措置による追加影響はなし

単位：億円	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比		通期予想に対する 1H進捗率
			増減額	増減率	
売上高	1,776	1,700	▲76	▲4.3%	47.9%
営業利益	88	100	+11	+13.3%	40.1%
営業利益率	5.0%	5.9%	+0.9P	-	-
経常利益	124	105	▲19	▲15.7%	47.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	70	+2	+3.0%	3.4%
EPS（円）	70.27	79.45	+9.18	+13.1%	-
ROE	3.1%	3.5%	+0.4P	-	-
年間配当（円）	70	70	-	-	-
為替レート（円）*	USD	153	▲10	-	-
	EUR	164	▲3	-	-

* 1H累計期間為替レート実績：USD：146円、EUR：167円、3Q以降の為替レート前提：USD：140円、EUR：155円
 （参考）為替感応度：1円変動による影響額（通期）【対USD】売上高：約10.0億円、営業利益：約1.2億円

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 12

通期業績予想は、期初計画を据え置いています。

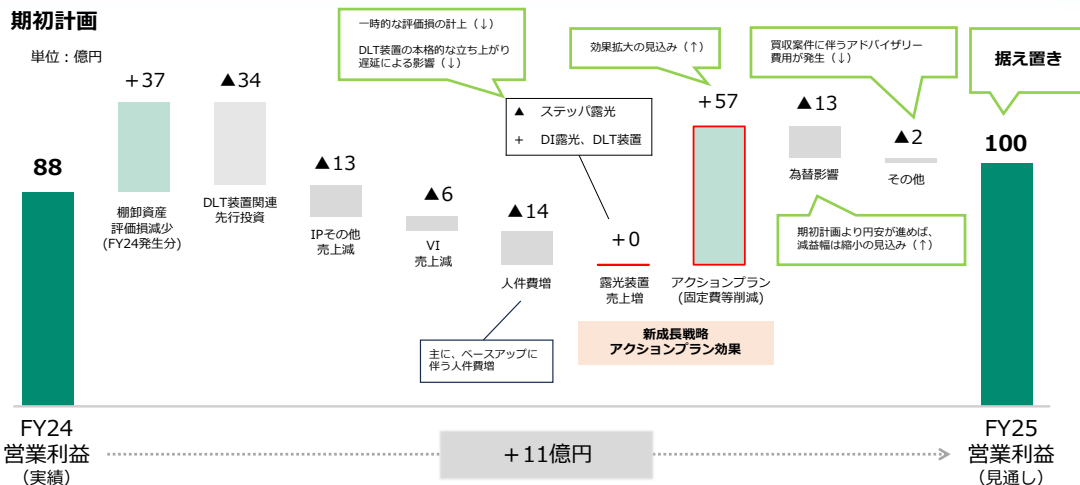
2025年度 通期業績予想：営業利益増減分析（前年同期比）

（11月6日時点）精査中も、今後の方向性を追記

USHIO

期初計画

単位：億円



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 13

通期営業利益予想の内訳は、精査中ではありますが、
 期初計画に対し、
 今後、DLT装置の本格的な立ち上がり遅延の可能性や
 買収案件に伴うアドバイザー費用の計上が見込まれます。

一方で、構造改革の効果拡大や、
 為替が期初計画より円安で推移していることを踏まえ、
 通期営業利益予想100億円を据え置いています。

2025年度 通期業績予想及び1 H進捗率(セグメント別)

USHIO

変更なし。下期のセグメント別見通しは引き続き精査中

単位：億円		2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比		予想に対する 1 H進捗率	2 Hの見通し
				増減額	増減率		
Industrial Process	売上高	789	760	▲29	▲3.7%	45.3%	- ステッパ露光装置は下期に販売増加を見込む - DLT等露光装置関連の先行投資は計画通り実施 - DLT装置は遅延による業績影響の可能性あり
	営業利益 (営業利益率)	96 (12.2%)	65 (8.6%)	▲31 (▲3.6P)	▲32.5% -	31.5% -	
Visual Imaging	売上高	808	760	▲48	▲6.1%	50.1%	- 季節性により下期のDCP販売増加を見込む - 構造改革効果の更なる発現を見込む
	営業利益 (営業利益率)	7 (0.9%)	45 (5.9%)	+37 (+5.0P)	+516.7% -	40.1% -	
Life Science	売上高	61	60	▲1	▲1.8%	54.8%	- 植物育成向けランプの販売貢献が継続 - 投資見極め及び構造改革効果が継続
	営業利益 (営業利益率)	▲10 (▲17.7%)	▲6 (▲10.0%)	+4 (+7.7P)	- -	- -	
Photonics Solution	売上高	103	105	+1	+1.8%	47.4%	- 売上は横ばいで推移 - 案件見極め及び構造改革効果が継続
	営業利益 (営業利益率)	▲4 (▲4.0%)	▲4 (▲3.8%)	+0 (+0.2P)	- -	- -	
その他	売上高	13	15	+1	+9.2%	44.0%	
	営業利益 (営業利益率)	0 (6.0%)	0 (0.0%)	▲0 (▲6.0P)	- -	- -	
連結合計	売上高	1,776	1,700	▲76	▲4.3%	47.9%	
	営業利益 (営業利益率)	88 (5.0%)	100 (5.9%)	+11 (+0.9P)	+13.3% -	40.1% -	

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 14

セグメント別業績予想は、現時点で変更ありませんが、下期の見通しについて精査を進めています。

現時点での下期見通しについて、ご説明いたします。

インダストリアルプロセス事業は、露光装置において、お客様の検収スケジュールに伴い下期での販売増加を見込んでいます。

また、DLTなど露光装置関連の先行投資は下期も計画通り継続する一方、採用判断の遅延による業績影響の可能性があります。

ビジュアルイメージング事業は、季節性によるデジタルシネマプロジェクターの販売増加に加え、構造改革の効果拡大を見込んでいます。
なお、参考情報をスライド20、21に掲載していますので、後ほどご覧ください。

ライフサイエンス事業及びフォトリソソリューション事業は、期初計画を据え置いています、収益構造改善による効果は継続する見込みです。

1株当たり
期末配当額

【配当方針】

安定的な配当

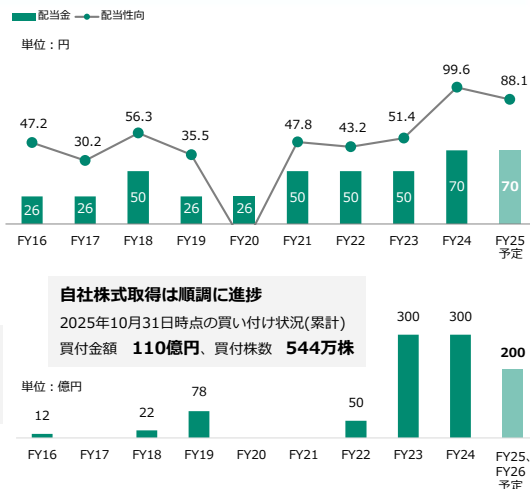
2025年度 70円/年（予定）

新成長戦略の方針：
FY24～FY26:下限配当70円/年を設定

自社株投資

【自己株式取得の方針】

機動的に実施

2025年8月5日リリース
取得期間：2025年8月6日～2026年4月30日
買付予定金額：200億円(上限)
買付予定株数：1,500万株(上限)新成長戦略の方針：
FY24～FY26で累計500～600億円の
自社株投資を実施予定

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 15

株主還元についてご説明します。
今年度の配当は期初計画通り、1株当たり70円から変更ありません。

自社株投資については、上限200億円の買付に対し、
10月31日時点で累計110億円、544万株を取得し、
進捗率は55%と順調に推移しています。

詳しくは、11月5日付けのリリースをご確認ください。

(スライド17ページへ)

- I. 2025年度 1H業績概要
- II. 2025年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗及び参考情報
- IV. 参考資料

DLT装置の業績貢献は計画より遅れる見込みも、需要の立ち上がり・拡大に向けた取り組みが着実に進展。
事業ポートフォリオ変革に関わる各施策は計画通り遂行中

- 半導体アドバンスドパッケージ事業
DLT装置の本格的な立ち上がりは遅延も、多数の評価・商談が進展中（詳細は18ページ）
- 構造改革（固定費削減アクションプラン）
計画通り進捗し、その効果が発現中（2Q時点の効果額：34億円）
 - ・不採算事業の収益構造改善に向けた選択と集中等の取り組みは進展中
 - ・セカンドライフ支援制度拡充に伴い、新体制へ移行
- 自社株投資（200億円）
計画通り進捗
 - ・ToSTNeT-3の活用も含め、10月末時点で110億円（進捗率：55%）の買い付け実施
- ams-OSRAM AGの一部事業の買収
クロージング*に向け計画通り進捗 *クロージング：2026年3月期第4四半期を目指す

続いて、新成長戦略の進捗についてご説明します。

先ほども触れた通り、
DLT装置の業績貢献が遅れる見込みも、現在、多数の評価・商談が進展しています。

また、事業ポートフォリオ変革に関わる各施策は計画通り遂行中です。
その結果、構造改革のアクションプランにおいて、
第2四半期時点で34億円の効果を計上しました。
引き続き、ビジュアルイメージング事業を中心に不採算事業の収益構造改善に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

自社株投資は、先ほどご説明した通り、計画通り進捗。
また、Osram社の一部事業買収も、クロージングに向け順調に進捗しています。

これらの施策を着実に実行することで、確実な企業価値向上を目指してまいります。

半導体アドバンスドパッケージ事業の最新状況

USHIO

将来の需要拡大が確実視される中、当社露光装置への関心が一層高まりつつあり、
需要の本格立ち上がり・拡大に向け、取り組みが進展

市場環境認識

- ・生成AI向け特定需要は拡大
- ・従来のサーバー・PC・車載系の需要は引き続き低調

当社を取り巻く事業環境

- ・2030年の想定市場規模(SAM: >\$800million)及びシェア(50%以上)に変更なし
- ・次世代パッケージ基板の大判化需要の本格的な拡大は27年度を想定。
 - DLT採用の新技术の立ち上がりが1～2年後ろ倒しも、市場は確実に拡大
- ・サブストレート基板は回復の兆しあり。本格的な投資再開は27年度を想定
- ・競争環境の変化にフルラインアップで対応

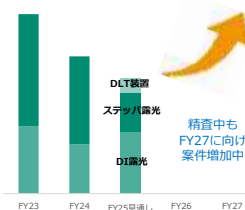
進捗状況

市場の拡大、立ち上がりに向け評価・商談が進展。次世代機開発含め取り組みが進展

- ・DLT装置：業績貢献が遅れる見込みも、複数案件で受注が確定・内定。
27年度の需要本格化に向け評価・商談が進展中
- ・ステッパ露光装置：今期は計画通りに推移。27年度に向け引き合いが増加中
- ・DI露光装置：ADP分野向けの次世代機は、来期より立ち上がりを見込む

【参考情報（売上高推移）】

半導体アドバンスドパッケージ向け
露光装置



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 18

最後に、半導体アドバンスドパッケージ事業の最新状況についてご説明します。

将来の需要は確実に拡大していくため、

2030年の想定市場規模や目標シェアに変更はありません。

ただし、需要の立ち上がり・拡大は、当初計画より1～2年ほど後ろ倒しになる見込みです。

次世代パッケージ基板の大判化需要の拡大は2027年度を想定。

また、サブストレート基板は回復の兆しが見え始めており、本格的な投資再開は2027年度になる見込みです。

これらの需要の立ち上がり・拡大に向け、DLT装置の評価・商談は進展し、新たに複数案件で受注が確定及び内定を得ています。

ステッパ露光装置も、2027年度の投資再開に向け、引き合いが増加中です。

ダイレクトイメージング露光装置は、来期より同市場向けに次世代機が立ち上がる見込みです。

このように、需要の立ち上がり・拡大は遅れる見込みも、

2027年度からの需要拡大の確度は高く、案件が増加傾向にあり、

これらの需要を確実に獲得するための取り組みを着実に進展させています。

次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に参画

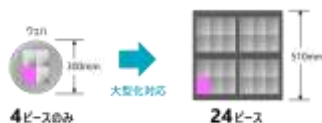


ウシオは、パネルレベル有機インターポザーの開発加速に、**デジタルリソグラフィ技術(DLT)**を提供
半導体アドバンスドパッケージ市場の活性化に貢献し、DLT装置のプレゼンス向上を目指す

【JOINT3概要】

目的：参画企業との共創により、パネルレベル有機インターポザーに適した材料・装置・設計ツールの開発を加速

活動内容：パネルレベル（515 x 510mm）の試作ラインを用いて、有機インターポザー向けの材料・装置・設計ツールを開発



詳細：[次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に参画 | ウシオ電機](#)（2025年9月3日付ニュースリリース）

先日リリースした通り、次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に当社も参画し、デジタルリソグラフィ技術を提供します。

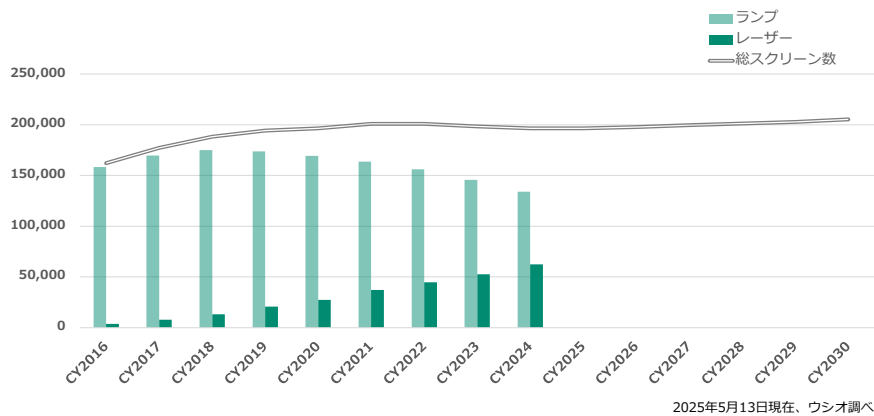
これにより、半導体アドバンスドパッケージ市場の活性化に貢献するとともに、DLT装置のプレゼンス向上を目指してまいります。

以上で、私からの説明を終わります。

Visual Imaging事業に関わる参考情報

USHIO

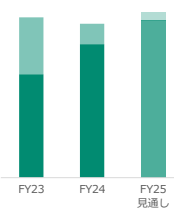
■ 光源別シネマスクリーン数及び総数の推移予想



【参考情報（台数推移）】

デジタルシネマ
プロジェクター(DCP)

■ レーザー ■ ランプ



■一般映像の事例紹介

世界のさまざまなシーンで革新的な映像体験に貢献

シンガポール

有数のマルチメディア及びプロジェクションマッピングのスペシャリストであるHexagon Groupが、Christie®社のGriffyn® 4K50-RGB pure laser projectorの独占供給を発表



50,000ルーメンという驚異的な明るさを持つGriffyn 4K50-RGBを今後100台以上提供

[Hexagon Group buys record Griffyn 4K50-RGB projectors](#)

マカオ

豪華な5つ星ホテル&リゾート商業施設イルミネリウムに50,000ルーメンのGriffyn 4K50-RGB pure laser projectorを29台提供。驚くほど没入感のある体験を



[Illuminarium enriches the visitor experience](#)

中国

50台以上のChristie社の1DL laser projectorを没入型演劇パフォーマンス「Ballad of Chu」に提供。伝統と最先端テクノロジーの融合で、忘れられない文化体験を



[Laser projectors elevate cultural experience in Hubei](#)

米国

アリゾナ州スコッツデールにあるOdySea Aquariumにレーザープロジェクター及びLEDビデオウォールを提供。足を踏み入れた瞬間に真っ青な海の真ん中にいるような気分を体感できる革新的な体験を



[OdySea Aquarium immerses guests in new lobby experience](#)

【参考情報（台数推移）】

一般映像向けプロジェクター



- I. 2025年度 1H業績概要
- II. 2025年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗及び参考情報
- IV. 参考資料

事業セグメントと主な製品

USHIO

事業セグメント	主要事業・製品	製品例
Industrial Process	光源： 露光用ランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他 装置： 露光装置、キュア装置、保守メンテナンスサービス他	 露光用ランプ  OA用ランプ  エキシマランプ  ステッパ露光装置  DI露光装置
Visual Imaging	光源： シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他 装置： デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他	 シネマ用ランプ  データプロジェクター用ランプ  デジタルシネマプロジェクター  一般映像用プロジェクター  ディスプレイLEDウォール  映像周辺機器
Life Science	光源：「Care222®」モジュール他 装置：紫外線治療機器他	 抗ウイルス・除菌技術「Care222®」モジュール  紫外線治療機器「セラビームシリーズ」
Photonics Solution	光源：固体光源	 固体光源（LD/LED）  レーザーモジュール

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 23

四半期推移《損益》

USHIO

単位：億円		2024年度				2025年度		前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	増減額	増減率
売上高		375	481	424	495	383	430	▲50	▲10.5%
営業利益		3	39	31	14	9	30	▲8	▲22.4%
営業利益率		0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	2.5%	7.1%	▲1.1P	-
経常利益		14	39	50	19	16	34	▲5	▲14.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/損失		2	20	34	10	▲28	30	+10	+52.9%
EPS(円)		2.92	20.26	36.07	11.56	▲32.06	35.72	+15.46	+76.3%
為替レート (円)	USD	155	153	149	154	145	147	▲6	-
	EUR	167	166	162	160	163	171	+5	-

四半期推移《セグメント別損益》

USHIO

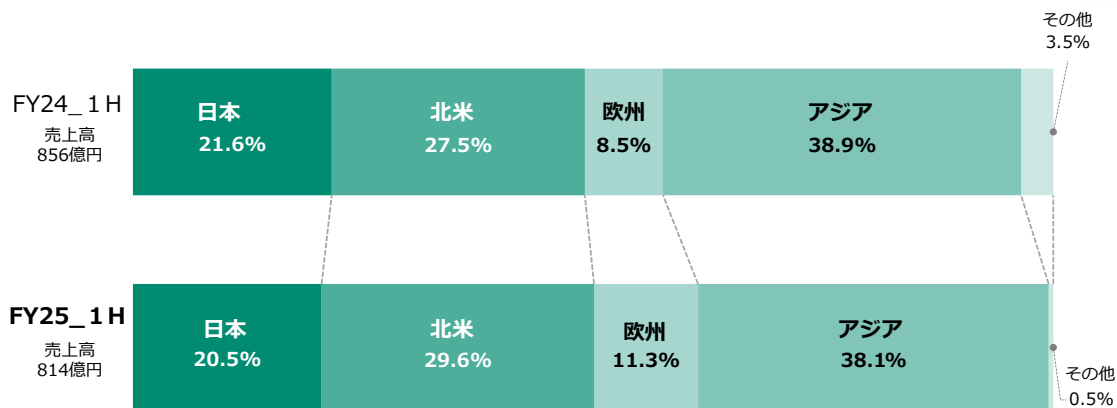
		2024年度				2025年度		前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	増減額	増減率
単位：億円									
Industrial Process	売上高	155	220	170	243	158	186	▲33	▲15.4%
	営業利益	10	41	18	25	3	17	▲24	▲58.9%
	営業利益率	6.7%	19.1%	10.9%	10.4%	2.1%	9.2%	▲9.8P	-
Visual Imaging	売上高	175	216	211	205	183	197	▲19	▲8.8%
	営業利益	▲4	3	15	▲7	3	14	+10	+310.7%
	営業利益率	▲2.7%	1.6%	7.5%	▲3.5%	1.9%	7.4%	+5.7P	-
Life Science	売上高	15	15	14	16	15	16	+1	+12.4%
	営業利益	▲1	▲3	▲2	▲2	1	0	+4	-
	営業利益率	▲11.1%	▲25.4%	▲16.7%	▲17.6%	7.2%	3.3%	+28.7P	-
Photonics Solution	売上高	25	25	24	26	23	26	+0	+3.2%
	営業利益	▲0	▲2	▲0	▲0	2	▲1	+0	-
	営業利益率	▲2.3%	▲8.6%	▲2.0%	▲3.1%	9.8%	▲5.3%	+3.3P	-
その他	売上高	2	3	3	3	3	3	+0	+2.4%
	営業利益	0	0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	-
	営業利益率	1.1%	8.8%	▲0.6%	13.2%	▲7.3%	▲6.4%	▲15.3P	-
連結合計	売上高	375	481	424	495	383	430	▲50	▲10.5%
	営業利益	3	39	31	14	9	30	▲8	▲22.4%
	営業利益率	0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	2.5%	7.1%	▲1.1P	-

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

25

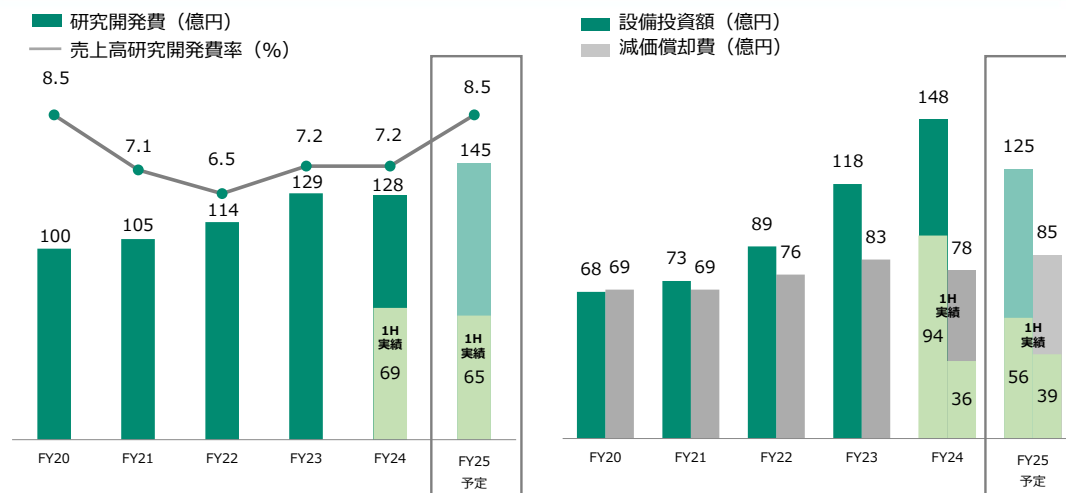
地域別売上高比率

USHIO



研究開発費／設備投資額・減価償却費

USHIO

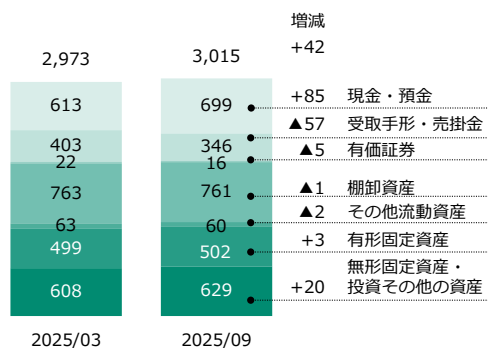


Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 27

貸借対照表

USHIO

資産(億円)

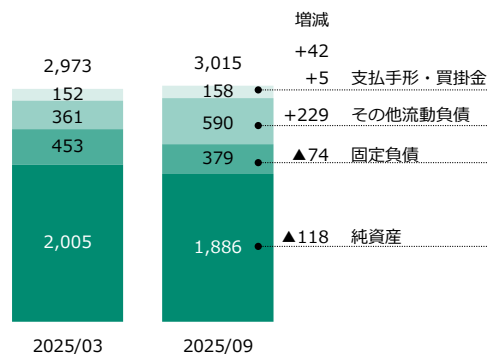


2025/03

2025/09

回転月数(ヶ月)	2025/03	2025/09
売上債権	2.7	2.8
棚卸資産	5.7	5.6
CCC	7.1	7.2

負債・純資産(億円)



2025/03

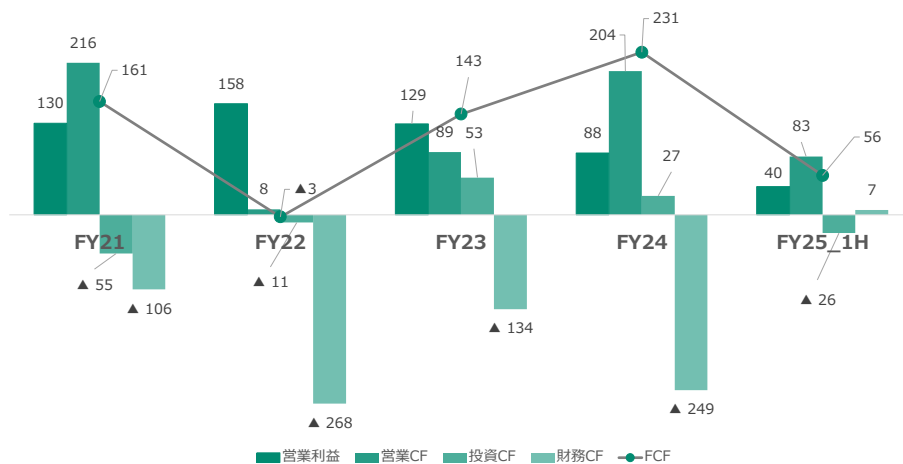
2025/09

自己資本比率(%)	2025/03	2025/09
	67.4	62.6

キャッシュフロー推移

USHIO

単位：億円



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 29

■事業セグメント関連

IP事業	IP business	Industrial Process事業
VI事業	VI business	Visual Imaging事業
LS事業	LS business	Life Science事業
PHS事業	PHS business	Photonics Solution事業

■その他

AI	Artificial Intelligence	人工知能
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
DLT	Digital Lithography Technology	デジタルリソグラフィ技術
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
半導体アドバンスドパッケージ (半導体ADP)	Advanced Packaging (ADP)	チップレットをはじめとする半導体の2xD、3D化に対応する最先端の パッケージ分野

IRサイト及びIRメール配信サービスのお知らせ

USHIO

- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」では、様々なIR情報を掲載しております。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように **IRメール配信サービス**を導入しております。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

🖥️ オフィシャルWebサイトもご活用ください



投資家情報





統合報告書(Ushio Report 2025)





「大和インターネットIR表彰 2024」「2024年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」
「優秀賞」受賞



「総合部門 最優秀サイト」選定

IRメール配信サービス
ご登録はこちら



<免責事項>

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

ウシオ電機株式会社

IR室

(03) 5657-1007

ir@ushio.co.jp

<https://www.ushio.co.jp/jp/ir>